

祖師堂

祖師堂は、1605年に当時の醍醐寺の座主だった義演准后によって建てられました。彼は、2人の偉大な僧にお堂を捧げ、2人の木造の像はお堂内で祀られています。

1人は空海（774-835）で、死後は弘法大師として知られており、醍醐寺が総本山である仏教の密教真言宗を確立しました。もう一人は空海の孫弟子で、死後理源大師として知られる、醍醐寺の創始者である聖宝（832-909）です。

6月15日、空海の誕生日にお堂で式典が開催されます。